



2023年2月13日

各 位

会 社 名 キュービーネットホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 北野 泰男
(コード番号：6571 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 松本 修
T E L 03-6418-9190

第2四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年8月15日に公表しました2023年6月期（2022年7月1日～2023年6月30日）の第2四半期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

(1) 第2四半期連結業績予想と実績との差異

2023年6月期第2四半期累計期間（2022年7月1日～2022年12月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,700	840	747	512	39.41
実績値 (B)	11,055	1,077	1,010	682	52.63
増減額 (B-A)	355	237	263	170	
増減率 (%)	3.3	28.3	35.3	33.3	
(参考) 前期第2四半期実績 (2022年6月期第2 四半期)	10,178	804	727	493	38.39

(2) 差異の理由

国内については、新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」という。）の第7波の影響が想定よりも小さかったこと等により、売上収益は計画比で103百万円増加しました。費用については、スタイリストの採用競争が激化したこと等により、スタイリストの人員数が計画を下回り、人件費は計画に対して減少しました。これらの結果、営業利益は計画比で225百万円増加しました。

海外については、香港において本感染症の防疫措置が継続したこと等により、外貨建ての売上収益は計画を下回りましたが、円安に伴う為替影響により、売上収益は計画比で251百万円増加しました。費用については、国内と同様にスタイリストの採用競争が激化したこと等により、スタイリストの人員数が計画を下回り、外貨建ての人件費は計画に対して減少しましたが、費用全体としては、円安に伴う為替影響により増加しました。これらの結果、海外の営業利益は計画比で12百万円増加しました。

以上の結果、売上収益は業績予想より355百万円増の11,055百万円、営業利益は同237百万円増の1,077百万円、税引前利益は同263百万円増の1,010百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同170百万円増の682百万円となりました。

通期連結業績予想については、人材投資を強化して、スタイリストの採用を積極的に進めることを計画していること、また、2023年4月に実施する国内の価格改定の影響が不確定であること等から、現時点では修正を予定しておりません。

以上